# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

05-324445

(43) Date of publication of application: 07.12.1993

(51)Int.CI.

G06F 12/00

(21)Application number: 04-130574

(71)Applicant: MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing:

22.05.1992

(72)Inventor: KATSURA KENJIRO

**UEHARA DAI** 

## (54) ACCESS PERMISSION METHOD FOR FILE DATA

#### (57)Abstract:

PURPOSE: To improve business efficiency by making terminal equipment numbers and access condition items into a table, registering it on a computer and judging the possibility of file data access and processing by purposes and functions at the time of using terminal equipments.

CONSTITUTION: The numbers are given to the plural terminal equipments, and these terminal equipment numbers and the possibility of access for each file, file data and data processing are made into the table and registered on the computer. At the time of operating from the terminal equipments, the possibility of performing access for each file access item and for each time of data processing is decided. On the other hand, plural access permission tables are registered, and the table to be used is designated corresponding to the time. Thus, the access is performed corresponding to the terminal numbers and the access permission tables and according to the combination of the time and the permission table, access permission is changed corresponding to the time.

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

# (19)日本国特新庁(JP) (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

# 特開平5-324445

(43)公開日 平成5年(1993)12月7日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup> G 0 6 F 12/00

識別記号 庁内整理番号 5 3 7 A 8526-5B

FΙ

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号

(22)出願日

特願平4-130574

(71)出願人 000006013

平成 4年(1992) 5月22日

三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内二丁目 2番 3号

(72)発明者 桂 健二郎

大阪市北区梅田二丁目3番24号 関西三菱

電機プラントサービス株式会社内

(72)発明者 上原 ▲だい▼

大阪市北区堂島二丁目2番2号 三菱電機

株式会社関西支社内

(74)代理人 弁理士 高田 守

(54)【発明の名称】 ファイル・データのアクセス・パミッション方法

#### (57)【要約】

【目的】 データ・アクセス項目、方法及びデータ処理 の可否を端末機番号で行うファイル・データのアクセス ・パミッション方法を得る。

【構成】 複数台の端末機にそれぞれ番号を付け、この 端末機番号とファイル毎、ファイル・データ項目毎、及 びデータ処理毎のアクセス可否をテーブルにして計算機 に登録する。

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数台の端末機より同一のファイル・デ ータをアクセスするファイルデータのアクセス方法にお いて、端末機番号とアクセス条件項目をテーブルにして 計算機に登録し、上記端末機使用時目的別・機能別にフ アイル・データ・アクセス及び処理の可否を判断するこ とを特徴とするファイル・データのアクセスパミッショ ン方法。

#### 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【産業上の利用分野】この発明は、電子計算機に格納さ れたファイル・データを端末機からアクセスするファイ ル・データのアクセス・パミッション方法に関するもの である。

#### [0002]

【従来の技術】一般に、電子計算機(以下単に計算機と 呼ぶ)に格納された共通のファイル・データを、複数台 の末端機からアクセスする場合、末端機の指定、データ ・アクセス方法及び項目の選択を、端末機及び計算機で 指定する方法として、末端機番号と人間系のパスワード を入力して実行されている。

#### [0003]

【発明が解決しようとする課題】従来のファイル・デー タのアクセス方法は以上のように行われるので、端末機 単位アクセスを限定できる場合でも、パスワードを入力 して実行しなければならないので、事務処理に手間がか かるという問題点があった。

【0004】この発明は上記のような問題点を解消する ためになされたもので、データ・アクセス項目、方法及 びデータ処理の可否を端末機番号で行わせるファイル・ データのアクセス・パミッション方法を得ることを目的

> 端末機No. 0 1 工事番号  $A \cdot B \cdot D$  $A \cdot C \cdot E$

登録した工事区分が、端末機CRT画面より登録・変更 ・取消・問合わせができ、登録されていない工事区分 は、登録・変更・取消はできないが問い合わせはでき る。

【0008】実施例2.複数台の端末機から同一ファイ ル・データを使用する場合、登録・変更・取消(ファイ

> 端末機No. 0 1 0 2 処理区分 1.2.3.4.5 4.5

【0009】実施例3.複数台の端末機のうち、特定の 端末機で特定の時間帯のみデータの登録・変更処理がで き、それ以外の時間帯は使用できないようにした方法で

> 端末機No. 0 1 02 処理区分 1.2 4.5 9:00 開始時刻 終了時刻 12:00

上記のように、端末機1のみ9時から12時までデータ

とする。

#### [0005]

【課題を解決するための手段】この発明に係わるファイ ル・データのアクセス・パミッション方法は、複数台の 05 端末機にそれぞれ番号をつけ、この端末機番号とファイ ル毎、ファイル・データ項目毎、及びデータ処理毎のア クセス可否をテーブルにして計算機に登録し、端末機か ら操作するときはファイル・アクセス項目、データ処理 のアクセス可否を決定する。また、アクセス・パミッシ 10 ヨン・テーブルを複数個登録し、時刻により使用するテ ーブルを指定する。

### [0006]

【作用】この発明におけるファイル・データのアクセス ・パミッション方法は、端末機番号とアクセス・パミッ 15 ション・テーブルにより実行し、時刻とパミッション・ テーブルとの組み合わせにより、時刻によるアクセス・ パミッションを変更できる。

#### [0007]

【実施例】実施例1.以下、この発明の実施例1による 20 ファイル・データのアクセス・パミッション方法につい て説明する。工事番号をキー・ワードとしてデータが作 成されている工事ファイルを、複数台の端末機からアク セスする場合、データを入力した端末機以外では、デー 夕の登録・変換・取消処理はできないが、全ての端末機 25 からデータを参照することができ方法である。工事番号 は英数字の文学列からなり、工事番号のある桁目に工事 の種類を表すA~Zまでの英字1文字がある。端末機毎 に入力できる工事の種類があり、それ以外の工事の入力 はできない。しかし、入力されたデータは全ての端末機 30 から利用することができる。下記のテーブルを計算機に 登録する。

03 10 1 1 20

ル・データを直接アクセスする)と問合・出力の処理区 35 分に分け、それぞれの端末機で処理区分を選択する方法 である。処理区分に、1:登録、2:変更、3:取消、 4:問合、5:出力等の番号を付け、下記のように端末 機番号と処理区分をテーブルにし、計算機に登録して使 用する。

0.3 10 20 1 1 4.5

ある。下記のように、端末機番号と処理区分1:登録、 2:変更をテーブルにし、計算機に登録して使用する。

03 20 10 1 1 4.5 4.5 4.5 4.5

力処理が可能である。なお、時刻とバミッション・テー の登録・変更が可能で、他の端末機は問い合わせ及び出 50 ブルとの組み合わせにより、時刻によるアクセス・パミ

# 特開平5-324445

ッションを変更することができる。

[0010]

【発明の効果】以上のようにこの発明によれば、端末機

単位でデータ・アクセス及び処理ができ、ファイル・データ・アクセス及びデータ処理の可否を登録変更することができるので、事務能率を向上する効果がある。